

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



◎11月定例会審査結果（議案）

指定管理施設の光熱費高騰、学校給食食材の価格高騰などの物価高を乗り越えるための緊急対策を行う「令和5年度鳥取県一般会計補正予算（第5号）」のほか、県人事委員会勧告に基づく「職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」などを含む9議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎11月定例会審査結果（陳情）

薬物乱用防止に関する啓発や教育を実施するよう教育委員会等に求める陳情1件について慎重に審査を行った結果、「不採択」と決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎11月定例会審査結果（議案）

物価高騰に伴う生活困窮者支援や介護職員等の処遇改善等を行う一般会計補正予算など10議案について審議し、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎11月定例会審査結果（陳情）

精神障がい者の障がい種別の違いによる差別の解消を求める陳情について、公共交通機関における交通運賃割引制度等において、身体障がい者等への支援内容に比べて差があることは、障害者差別解消法に規定される不当な差別的扱いとまではいえない。しかし、各事業者の理解が深まるよう努めるなど、県として必要な取組を進めることは重要であることから「趣旨採択」と決定した。

農林水産商工常任委員会



◎11月定例会審査結果（議案）

電気や燃料等のエネルギー価格や、原材料・資材価格などの高騰対策として、資金繰りや経営力向上、賃上げ、施設・設備の省エネ対策等の支援策などを盛り込んだ先議議案「令和5年度鳥取県一般会計補正予算（第5号）」や、小鹿第一発電所の取水を行う中津ダム湖内への台風第7号による堆積土砂の浚渫費、農家・産地の収益力強化の支援策やコメの高温障害対策費、鳥取県産業未来共創条例に基づく補助金の増額等を含むその他の補正予算、農林水産部が所管する各種施設の指定管理者の指定など計14議案を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

地域県土警察常任委員会



◎11月定例会審査結果（議案）

国の総合経済対策を踏まえた交通事業者に対する物価高騰対策の支援のほか、住民や事業者との共創による鳥取型ライド・シェア、国際航空便の再開に伴う訪日観光客の受入環境整備、防災・減災機能の強化に向けた道路・河川整備を含む一般会計補正予算など8議案を審査し、全て原案どおり可決すべきものと決定した。

◎出前県議会（11/22：鳥取市内）

投票率の著しい低下など若者の政治離れが深刻化している状況を踏まえ、政治参加や投票率向上策について県内大学生と意見交換し、投票行動につなげるための環境整備としてインターネット投票の試行など、意見をとりとめた。